道立江差高等看護学院

学院生活に関する学生アンケート結果（令和６年２月）

■ **実施時期**　令和６年２月２０日～２６日
■ **対象期間**　令和５年８月～令和６年１月
■ **対　　象**　全学生
■ **回答方法**　電子申請フォームにより各自スマートフォンで回答（無記名）

１　回答率（目標：１００%）

月	２月
回答数	３０人（１００%）

２　学院生活の満足度（目標：楽しい・まあまあ楽しいが増加）

月	２月
【1】学院生活が充実しているか （楽しい・まあまあ楽しい）	２６人 （８６．７%）

３　自己肯定感（目標：ポジティブな回答が増加）

月	２月
【2】自分自身に満足しているか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	２２人 （７３．３%）
【3】自分が役に立っていると感じるか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	２３人 （７６．７%）
【4】今の自分が好きか （そう思う、どちらかと言えばそう思う）	２２人 （７３．３%）

４　教職員の対応で不快に感じたこと（目標：「なかった」が１００%）

月	２月
【5】教職員の対応で不快に感じたことがあったか	なかった　２９人（９６．７%）
	あった　　１人（　３．３%） 【内容】 １月ごろに１回、先生から、容姿に対する内容

５　ハラスメント相談員の周知（目標：「知っている」が１００%）

月	２月
【6】ハラスメント相談員を知っている	２９人（９６．７%）

６　学院としての対応

（１）教職員の対応で不快に感じたことについて

職員間で協議しましたが具体的な場面は特定できませんでした。ただし、前回のアンケートでも同様の回答があったことから、職員全員で課題意識を共有するほか、改めて、ハラスメント防止研修を受講するとともに、厚生労働省・ハラスメント対策の総合情報サイトで対応の留意点を学び直し、再発防止に努めていきます。

学生に対しては、教職員の言動で苦痛を感じた場合などは我慢せずに目安箱やハラスメント相談員に相談するよう周知しました。

（２）ハラスメント相談員について

当学院のハラスメント相談員については、全学生に名簿を配付し説明しています。また、学生掲示板にも常時掲示しています。